

長沢背稜天目背稜を歩く  
天目山(三ツドッケ)、蕎麦粒山

実施日 2022年5月8日(日)  
天候 曇り  
リーダー 宮崎 敏男  
参加者 石附智恵、宮崎敏男 計2名  
費用 JR立川～奥多摩片道650円  
☎:奥多摩～東日原片道480円  
タイム 東日原(8:10~10:50)一杯水避難小屋(11:00~11:30)三ツドッケ(12:15~13:45)昼食・休憩)蕎麦粒山(14:00~15:10)一杯水避難小屋(15:25~17:14)東日原帰路バス東日原発(17:30)

奥多摩最北の長沢背稜天目背稜へは東京の行きどまり東日原から。ミツドッケまで標高差970m、ヨコスズ尾根への急登と長いトレールだ。

杉林のジグザグを切り、鉾山の金網東感辺の山に沿い高度を上げる。滝入りの峰の境に側を巻く道は片側が切れ落ちて秘境にたっぷり。やがて広い稜線上に出たりはブナ、ミズナラの巨樹やカエデの美し



広い葉樹林が美しい。シロヤシオも確認。今年早かったが「今年もう終わらね。」と教えられ「..」とツカリ。霧のベ

ルが奥多摩の山並みを包み、花も「またね」とツレナイ。今日のIさんとガツカリ。

ヨコスズ尾根・長沢背稜天目背稜の合流する所に一杯水避難小屋がある。この避難小屋は新しくないが広くて清潔だ。さきほど出会った重装備の人組の前夜の宿だ。会の一泊山行に用できそうだ。

長沢背稜は一人歩きがよく似合う、静かな山道を独り行く姿もいいものだ。ミツドッケへの分岐を折り返した急登の岩稜ピークをひとつ超えふたつ目が山頂だ。この先三つめがあり突起(ドッケ)と言うらしい。山頂は狭いが眺望に恵まれている(ハズだ)奥多摩随一の眺望も「またね」とツレナイ2。

景観なくとも弁当はうまい。ところがしばし霧が晴れ秩父の山並みと蕎

粒・川苔・大岳の山々の眺望を得たのには感激した。あとから来た二人組、日原鍾乳洞から七尾根を2Lペットボトル(もちろん水入り)数本を詰めてトレーニング登山との事。



奥多摩最深部に魅せられた山男は見

て好ましい。ミツドッケから蕎麦粒山への天目背稜はカエデやブナの新緑が鮮やかな快適な尾根道。天元峠(この峠はピークにある)を巻いていよいよ最後の登り。ピラミッド型の山頂には大きな岩がい



くつもゴロゴロ。なかなかに辿り着かかった折り返し点到達を同行のIさんと祝した。今回山行は愚れ下日一屋ま急

ごう。往復17km、累計標高差1,576m、歩行7時間半、行程9時間の今回山行は絶好の夏山トレーニングで、かつ達成感あるものでした。

なお、雨を心配し1日延期し、長丁場を考へ出発を1時間早め、又、山行案内が楽そうな印象を与えたりし、同行できなかった方が多く出たことは残念でした。またのご一緒をよろしく。

(記&写真・宮崎 敏男)

【メンバーひと言】  
長い急登のヨコスズ尾根も新緑と落ち葉の道根を気分よく切りました。天気もまあまあ、人も少なく貸切り占め山でした。下りの最後は歩くのがイヤに、最後は歩いたのがスタ一トからのペースが良かったからだと思います。歩けることの幸せを感じた記憶に残る山行になりました。(石附智恵)

